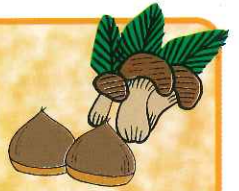


コミュニティ 佐潟だより



平成27年 秋号 -11月発行-

赤塚消防団 秋季分団演習



9月13日(日)、新潟国際情報大学駐車場にて赤塚分団秋季分団演習が開催されました。

この大会は赤塚地域内の15の班が参加し、次年度市大会代表を決する大会です。

どの班も日々練習を積み重ねて、今回の大会に望まれました。

そして、西区長眞島様や西方面隊長などの来賓の方々が見守られる中、演習が始まり、開閉会式ではラッパ隊による演奏が行われ、整然と整列した団員の皆様がとても凛々しく見えました。

演習競技は、小型ポンプ操法と放水競技の2種が実施され、小型ポンプ操法では、「よし！」の掛け声と共にホースを繋ぎ、「筒先員交代」の合図で筒先を持つ団員と交代する動作などが行われました。

放水競技は、一斉にエンジンをかけ、筒先から放水された速さを競いました。勢い良く大量の水が筒先から出る様子は圧巻でした。

小型ポンプ操法・放水競技ともに3班が1位となりました。次年度市大会での御活躍と御健闘を祈念しております。

小型ポンプ操法		放水競技	
1位	3班	1位	3班
2位	1班	2位	13班
3位	15班	3位	15班



四ツ郷屋敬老会



9月21日敬老の日に四ツ郷屋自治会では、恒例の敬老会が開催されました。

今年は初めて百歳以上の人が高杉ミヤさんと小川藤子さんの二名となりました。お二人とも元気で、まだまだ長生きしてくださいね。来年もまたお会いしましょう。



みずき野祭り

8月1日 みずき野中央公園にて「みずき野祭り」が開催されました。

中央公園内では模擬店、子供わくわくまつり、子ども樽神輿、マジックショー、夕日ライブ、花火大会、大抽選会が行われました。

育成部による子供わくわくまつりではかき氷、ストラックアウト、水ヨーヨー、くじ引き、スイカ割りなどを出店し、沢山の子どもが楽しんでいました。また子ども樽神輿を行い園児と小学生が「わっしょい」と元気一杯にみずき野町内を練り歩きました。

模擬店では焼きそば、フランクフルト、こんにゃく、トウモロコシなどの食べ物を販売し、沢山のお客様が並んでいました。

夕方行われたマジックショーでは風船、新聞、かさ、ペットボトルを使ったマジックを行い、観客を魅了しました。



佐潟まつり「万燈籠」



8月29日(土)佐潟まつりが佐潟公園にて行われました。

午後1時から行われた潟舟乗船体験では地域内外の方が乗船し、体験者からは佐潟の湖面の運や水辺を楽しみながら自然を満喫できた爽快感に溢れた姿が見受けられました。

まつり開催に先立って、保育園・小学校・中学校の子どもたちが思い思いに燈籠を作成し、当日佐潟公園遊歩道に並べました。また、潟内には約300個の燈籠が並び、日没と同時に徐々に燈籠の明かりが浮かび上がりました。

売などが行われ、多くの人で賑わいました。

ステージショーでは、ちびっこ園児ショーから始まり、赤塚小鼓笛隊、木山小ダンシングチーム、赤塚中学音楽部による合唱が披露され、今年最後の打ち上げ花火では、合計100発程が打上げられ、地元花火師のご厚意により、話題の花火「白菊」も上げていただきました。



第19回佐潟クリーンアップ活動「潟普請」

9月19日(土)・20日(日)、佐潟公園内で「潟普請」が行われました。19日には事前作業としてヨシ刈り作業をし、20日は赤塚中学校生徒を中心に地域住民・市民の方々が参加してヨシ運びとドロ揚げ作業を行いました(2日間で延べ130名参加)。

潟普請は、佐潟の水質環境を悪化させる原因であるヘドロを除去するための作業としてドロ揚げを、栄養分を吸収して育ったヨシの刈り取りをそれぞれ行い、潟外へ栄養源を放出する保全活動の一環で行われています。

ヨシ運び作業では、野鳥観察舎前で前日に刈られたヨシをワラ縄で束ねて運び出しました。ヨシの束ね方を教わり一生懸命に大きな束を運ぶ様子が随所に見られました。

ドロ揚げ作業では、佐潟橋付近の水路を岸辺からジレンを使用して行いました。ヘドロの臭いと格闘しながらバケツで泥をトラックに積んでいました。

作業後は、ハスやヒシの実の試食も行われ、特にヒシの実は中学生から人気で「おいしい、おいしい」と好評でした。

